



宮城県古川高等学校 同窓会報

第112号

2018.6.27

編集・発行

宮城県古川高等学校同窓会

〒989-6155

宮城県大崎市古川南町2-3-17

☎ 0229-22-3034 FAX 0229-23-4621

http://furuko.myswan.ne.jp/

印刷/南中村印刷 ☎ 0229-63-2008

創立120周年記念式典



校長式辞



高橋仁教育長祝辞



中島源陽県議会議長祝辞



同窓会長挨拶



感謝状贈呈



来賓の皆様



記念品贈呈



図南歌斉唱



感謝状を贈呈された方々

生徒代表の言葉
(早坂峻輔)

荒川忠一先生講演会



新旧団長と旧副団長によるエール



全校生徒による校歌の混声四部合唱披露



百二十周年記念展示

平成二十九年十一月二日、宮城県古川高等学校創立百二十周年記念式典が、多くのご来賓及び卒業生、保護者の方々をお迎えして盛大に催されました。金と宏校長の式辞、伊藤貞嘉同窓会会長の挨拶に続き、前同窓会長の渡邊義之氏と歴代の校医・薬剤師である加藤晴彦氏と歴代の父母教師会長である木村哲夫氏に感謝状が贈呈されました。祝辞は、高橋仁教育長と中島源陽宮城県議会議長より賜り、古高の更なる飛躍を期待する旨のお言葉をいただきました。生徒代表の言葉は、生徒会長の早坂峻輔が「自分の殻を破り、一歩踏み出して行動し、目標に向かって挑戦し続けることこそが、今後の古高に必要である」と述べ、古高生としての自覚と誇りを胸に学校生活を送ることを誓いました。同窓会からは学校へ記念品として、空調機（冷房）が贈呈されました。空調機は今年の夏までに南校舎3B教室に設置され、授業や課外講習、学校行事等で活用されます。式の最後には、全校生徒による校歌の混声四部合唱が披露されました。平成二十七年に男女共学となり、平成二十九年には全学年が共学となつてから十年の節目に当たります。男女が力を合わせ美しいハーモニーを響かせる姿は、古高が「真の共学校」となつたことの象徴とも言えるものです。そして、図南歌斉唱は、新旧団長と女性初の方々に母校への懐かしさを思い起こさせる歌声となりました。式典終了後は、東京大学名誉教授 荒川忠一先生の記念講演会となりました。荒川先生には、「風力発電の国内外の最新動向と日本の探るべき方向性」と題してお話をいただきました。数値流体力学の権威である先生の「いかにして風車を日本に普及させるか」という熱い思いが伝わる大変興味深いお話を聞くことができ、生徒たちは目を輝かせて聞き入っていました。

今回このように盛大且つ有意義な式を執り行うことができたのも、ひとえに諸先輩方のお力の賜と感謝申し上げます。今後とも古高の活躍を見守って頂くと共に、引き続きご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

平成二十九年十一月二日、宮城県古川高等学校創立百二十周年記念式典が、多くのご来賓及び卒業生、保護者の方々をお迎えして盛大に催されました。金と宏校長の式辞、伊藤貞嘉同窓会会長の挨拶に続き、前同窓会長の渡邊義之氏と歴代の校医・薬剤師である加藤晴彦氏と歴代の父母教師会長である木村哲夫氏に感謝状が贈呈されました。祝辞は、高橋仁教育長と中島源陽宮城県議会議長より賜り、古高の更なる飛躍を期待する旨のお言葉をいただきました。生徒代表の言葉は、生徒会長の早坂峻輔が「自分の殻を破り、一歩踏み出して行動し、目標に向かって挑戦し続けることこそが、今後の古高に必要である」と述べ、古高生としての自覚と誇りを胸に学校生活を送ることを誓いました。同窓会からは学校へ記念品として、空調機（冷房）が贈呈されました。空調機は今年の夏までに南校舎3B教室に設置され、授業や課外講習、学校行事等で活用されます。式の最後には、全校生徒による校歌の混声四部合唱が披露されました。平成二十七年に男女共学となり、平成二十九年には全学年が共学となつてから十年の節目に当たります。男女が力を合わせ美しいハーモニーを響かせる姿は、古高が「真の共学校」となつたことの象徴とも言えるものです。そして、図南歌斉唱は、新旧団長と女性初の方々に母校への懐かしさを思い起こさせる歌声となりました。式典終了後は、東京大学名誉教授 荒川忠一先生の記念講演会となりました。荒川先生には、「風力発電の国内外の最新動向と日本の探るべき方向性」と題してお話をいただきました。数値流体力学の権威である先生の「いかにして風車を日本に普及させるか」という熱い思いが伝わる大変興味深いお話を聞くことができ、生徒たちは目を輝かせて聞き入っていました。

「真の共学校へ」 主幹教諭 館内 浩二

伊藤新会長からは幼少時によく田んぼに行つて米作りを手伝いながら父親から教えたことや古川高校での下宿生活の様子、また東北大学医学部進学に向けて小学校や高校の恩師とのつながり、また大崎市民病院（旧古川市立病院）でのアメリカ留学を勧められた恩師との出会い、アメリカでの研究成功に至るまでの多くの友人との出会いがあったことなどのエピソードの披露がありました。多くの人のつながりがどれほど大切であるかを実感できる講演を当時の画像などを交えてご講演いただきました。講演の後に全員での記念写真撮影、懇親会と続き、最後は恒例の応援歌の大合唱。エールで盛会の内に幕を閉じました。

当日は物故者への黙祷、校歌斉唱から始まり、伊藤貞嘉新同窓会会長、金と宏校長からの挨拶の後、在京同窓会長鹿野軍勝様、関西雪会長高橋達也様、在仙同窓会鈴木忠司様よりご祝辞を頂きました。議案審議に移り、平成28年度の会計報告、行事報告、平成29年度の会計予算、行事予定が承認されました。続いてご来賓の紹介、同窓会事務局から同窓会奨学生について紹介、更に120周年記念式典に向けた同窓会としての事業について説明がありました。

記念講演では、講師として東北大学理事・医学部教授で伊藤貞嘉新同窓会会長（昭47卒・高24回）から、「二期一云」という演題で講演をいただきました。



平成二十九年年度総会開催

平成29年8月11日(土)午後1時から「芙蓉園」(大崎市古川)にて平成29年度同窓会総会が、175名の会員を迎えて盛大に開催されました。

べく「全武両道」を目標に高校生活を過ごしてきました。特に、進路につまなは先生方のバックアップもあり、第一志望の大学に合格でき、弁論において全国総合大会最優秀賞1回、全国総合文化祭優秀賞2回と、完全燃焼ができた結果になったと考えています。

春からは東京で新しい生活が始まります。培った経験や思い出は忘れずに、し

古高同窓会 平成29年度 会計決算書・平成30年度 予算書

I 一般会計

平成29年度	収入決算額	4,393,835円	平成30年度	収入予算額	3,950,000円
	支出決算額	4,135,402円		支出予算額	3,950,000円
	差引残高	258,433円（次年度へ繰越）		差引残高	0円

1. 収入の部

項 目	平成29年度予算額	平成29年度決算額	比較増減	摘 要	平成30年度予算額	摘 要
繰越金	641,708	641,708	0		258,433	
年会費	2,600,000	2,244,000	▲ 356,000	2,000円×1122名（昨年1245名） （過年度分納入者5名分含む）	2,400,000	1,200名予定
入会金	702,000	711,000	9,000	3年生（237名×3,000円）	717,000	3年生239名
総会会費	560,000	777,000	217,000	4,000円×176名（昨年138名） 祝儀	560,000	4,000円×140名
雑収入	46,292	20,127	▲ 26,165	貯金利子、祝儀、記念誌販売、寄付	14,567	祝儀、貯金利子、他
計	4,550,000	4,393,835	▲ 156,165		3,950,000	

2. 支出の部

項 目	平成29年度予算額	平成29年度決算額	比較増減	摘 要	平成30年度予算額	摘 要
運営費	1,930,000	2,019,118	89,118		1,750,000	
消耗費	80,000	93,853	13,853	事務用品	80,000	
通信費	80,000	104,426	24,426	はがき、切手など	80,000	
旅費	350,000	532,680	182,680	支部同窓会への旅費	400,000	
慶弔費	50,000	20,592	▲ 29,408	生花・弔電代	30,000	
会議費	600,000	409,889	▲ 190,111	支部同窓会への祝儀、 役員会経費	400,000	
総会経費	680,000	788,342	108,342	会食費及び控入室代等含む	680,000	
広告費	90,000	69,336	▲ 20,664	新聞広告掲載代	80,000	
事業費	2,400,000	2,116,284	▲ 283,716		2,080,000	
記念品	230,000	219,171	▲ 10,829	卒業証書ホルダー、 重雪パッチ	220,000	
奨学金	360,000	360,000	0	60,000円×3名×2（前期、後期）	360,000	
助成金	500,000	200,000	▲ 300,000	生徒会活動費補助	300,000	
会報発行	1,100,000	1,161,941	61,941	会報111号印刷費（9,000部、340,200円） 郵送費（821,741円）	1,100,000	112号印刷費 （9,000部予定）、郵送費
その他	210,000	175,172	▲ 34,828	サラト名簿管理代、会報会誌手数料、データ 処理代、年会費振込手数料（89,915円）	100,000	
予備費	220,000	0	▲ 220,000		120,000	
	220,000	0	▲ 220,000		120,000	
計	4,550,000	4,135,402	▲ 414,598		3,950,000	

II 特別会計

平成29年度決算			平成30年度予算		
繰越金	826,785円		繰越金	910,798円	
収入決算額	84,013円（校歌CD立替金+利子13円）		収入予算額	84,000円（校歌CD立替金+利子）	
支出決算額	0円		支出予算額	0円	
差引残高	910,798円（次年度へ繰越）		差引残高	994,798円	

III 120周年記念式典分を含めた特別会計（内訳）

平成29年度	収入	4,224,018円	残金内訳	
	支出	1,125,566円		
	差引残高	3,098,452円		
通年特別会計分		910,798円	（次年度へ繰越）	
120周年記念式典分		2,187,654円		

1. 収入の部

項 目	平成29年度決算額	摘 要
通年特別会計分	910,785	
繰越金	826,785	
校歌CD	84,000	350円×240名
120周年記念式典分	3,313,220	
広告費	444,300	32件 （手数料差し引き額）
寄付金	2,868,920	848名 （手数料差し引き額）
その他	13	
貯金利子	13	
計	4,224,018	

2. 支出の部

項 目	平成29年度決算額	摘 要
校歌CD製作費	0	今年度は作成なし
120周年記念式典	1,125,566	
横断幕	250,000	
式典補助	150,000	運営委員会へ
同窓会印	17,000	支部同窓会への旅費
記念誌製本費	16,200	講師昼食（寿司）
会議費	4,000	
目録	756	
記念品（手ぬぐい）	600,000	300円×2000本
囲む会不足分補てん	979	
手ぬぐい郵送費	87,580	140円×506通、 124円×135通
残金返金	－949	運営委員会より
計	1,125,566	



かし、決して過去に甘えることなく、東京という地でも果敢に挑む勇氣をもつて、意志ある一歩を確実に歩んでいきます。この度は本当にありがとうございました。

古川高校70回生 前応援団長 大友太一

冬の厳しさが去り、日に日に春の到来を感じる季節になりました。この度は古川高校の卒業式へのご参列並びに東京蛍雪賞を贈呈していただき誠にありがとうございました。この春をもって私たち70回生は古川高校を巣立ち、大学、専門学校、就職など様々な未来へと進んでいきます。これまでとは全く違う環境下で右も左も分からない私たちですが、古川高校同窓会の方々がお力添えをしてく下さる同窓会のことです。不安が軽くなったという卒業生も多いと思います。

私は宮城に残りますが、友人は全国に広がります。彼ら、彼女らは私にとつてとても大事な仲間です。皆が困っていたら、どうか先輩たちの手で助けてあげてください。私たちは大きくなつたつもりであつても、まだまだ子供、これから多くのことを学ぶ存在です。その自立には他所からの支えが必要不可欠です。各分野に精通した先輩方がいれば、私たちはより多く、大きな知識を得て社会に加わることが可能になることを私は確信しております。

そのような多くの偉大な先輩方がいる同窓会に加われることに喜びを感じると共に、東京蛍雪賞のような光栄な賞を頂けた事への感謝を述べさせていただきます。終わりの挨拶とさせていただきます。

この度は本当にありがとうございました。

ですが、一番の理由は周囲に努力家な友人たちが多くことにあつて感じています。私は高校三年の成績をこのように形で評価していただきましたが、私の周りには、この賞に匹敵するような実力と、私を凌ぐ努力を重ねている人がたくさんいます。そのような皆さんのライバルたちと切磋琢磨し、互いに鼓舞しあえたからこそ、三年間勉学に励むことができた、今の私があるのだと思います。そうして、素晴らしい環境で三年という月日を過ごせたことが、たいへん嬉しいことです。春からは隣の山形県で、自分の目標に向かって進む日々が始まります。古川高校で培った精神や仲間たち、そして古高生であることの誇りを胸に、精進していきます。

最後になりますが、これからの古高生が、より高みで、より眩しく、輝く存在でありますようご祈念申し上げます。受賞の言葉といたします。この度は、本当にありがとうございました。

感謝の言葉 鈴木悠平

この度は、仙台蛍雪賞という素晴らしい賞をいただき、大変嬉しく思うと同時に、今まで支えてくださった方々に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

私が3年間勉強に部活に励む事ができたのは、一緒に頑張ってきた友達、熱心に指導していただいた先生方、そして応援し続けてくれた家族のおかげであり、本当に感謝しております。

私にとつての古川高校での生活は、本当にあつたという間でした。文武両道に追われながら、いろいろな事に挑戦した日々の、貴重な体験が私を一回りも二回りも大きく成長させてくれたと思います。真つ只中にいるときは気がつきませんでしたが、今振り返つてみるととても充実した日々でした。

これから先は皆さんのことを学んで将来社会に貢献できるような仕事に就けるようにこの仙台蛍雪賞と古川高校卒業生としての誇りを胸に、そして周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思つています。この度は本当にありがとうございました。

ソフトボール部

第36回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会出場

古川高校ソフトボール部主将 高橋 真弘

私たち古高ソフトボール部は県大会決勝で接戦の末、白石工業を下し高知県で行われた全国選抜大会に出場しました。全国大会の雰囲気は今まで感じたことのない緊張感と熱気に包まれていました。初戦の相手は愛知の刈谷工業。宮城県の代表として自信を持って臨みましたが、相手の小技を絡んだ巧みな攻撃に翻弄され、また「こごぞ」という時に一本が出ず、何もできないまま大敗を喫しました。

結果としては初戦で負けてしまいましたが、自分たちの課題が見つかるのと同時に、全国のチームの試合を拝見し、走攻守において見習うべきところを確認することができました。初めての全国の舞台は学ぶことが多く、ソフトボールの難しさ、奥深さを知るとともにチームの総合力を上げるために重要な経験となりました。この度の全国大会出場にあたり古高同窓会の皆様や古高ソフト部OB会の皆様には多大なるご支援を頂きました。部員一同心から感謝しています。これからも先輩方が築いてきた古高ソフト部の伝統を守りながら、全国でよりいっそう飛躍できるよう努力するとともに、挨拶や礼儀において他の模範となる部を目指したいと思つています。この度は本当にありがとうございました。

同窓会入会式

「卒業生の積極的な意見が飛び交う 卒業生主役の入会式」

平成30年2月28日（水）卒業式の前日に、卒業式の準備がすつと整った体育館において、毎年恒例の同窓会入会式が行われ、同窓会活動の紹介、同窓会からの記念品贈呈という流れで、今年度も卒業生の意見交換会の時間が設けられました。伊藤会長より、意見交換会の趣旨として「若い世代から、意見交換会の趣旨に関心をもち、卒業生も積極的に参加し、同窓会が、同窓会活動に積極的に参加し、同窓会の役員となったことも紹介され、何をやっていくのか？」と「同窓会とはどのような印象を持っているか？」などについて自由な意見を発言してもらいました。

生徒からは「同窓会とは具体的にどのような活動をしているのか？」「先輩の方々が中心に活動しているイメージがある。」など率直な意見が出されました。伊藤会長からは、部活動補助金として毎年50万円が同窓会より支出されていること、同窓会奨学金の話や例に挙げ、皆さんの活動を応援するのが同窓会の仕事であることとを強調されました。

生徒たちにとつて、同窓会の具体的な活動内容を聞くことにより、同窓会というものを身近に感じてくれたのではないかと、同窓会の活動内容を更に広げ、今後このように機会に同窓会とは何かということを生徒たちに伝え、古高OBが在校生全員のために尽くして頂ければと思つています。

平成29年度宮城県公立高等学校及び特別支援学校教職員笛雪会の総会が11月11日(土)にホテル白萩で行われました。第1部では林崎秋彦副会長の議長としての総会、第2部では講演会が行われました。講師は造形作家の姉齒公也先生(昭和51年卒・高29回)で「創造性と独創性をもたらすもの」と題し御講演をいただきました。

姉齒先生は大崎市長岡出身。美術との出会いは小学校の先生から絵を褒められたことで、それ以来暇があれば絵を描き、古高に入学後美術部で現在でも付き合っている赤沼先輩(現東京芸術大学教授)の作品を真似ることから始め、卒業後は東京で浪人生活を送り、現文化庁長官の宮田亮平氏から「美術の勉強は環境が大事だからあきらめるな」と励まされ2浪目で東京芸術大学に合格。流行の現代美術を専攻し、さびた鉄作品で大学3年次に2人展を開催し、卒業後数社を経て



教職員笛雪会
幹事長 佐々木 伸
(昭和60年卒・高37回)

専門学校の講師となりフリーランスの造形作家として現在に至っています。古川では東京芸大を目指す受験生に教え、褒めつつける指導法により、学生は新たな発想や工夫を凝らし作品づくりに熱中しています。その様子から「教育はおもしろい」と実感し、個々に応じた指導と生徒の心に届くように話術を交えながらの授業が重要であると話していました。

「創造力と独創力をもたらすもの」は素晴らしい社会であり、画一的ではなく個性を生かす教育が大切であると「主体的対話的深い学び」に通ずる講演でした。

加美支部
事務局長 諸岡 敏博
(昭和46年卒・高23回)

平成29年度加美町支部総会は8月25日いつもの「JAよつば館」で行われました。出席者は38名でした。また本部から佐々木源副会



長、母校から金校長と富田先生にご出席いただきました。29年度総会は初参加の方々が7名もいました。28年度2次会で遭遇した彼女は仕事で残念ながら欠席の返事。30年度は必ず出席と約束しています。

今年の中新田火伏の虎舞は好天に恵まれ賑わいました。祭りの練習は2週間前から始まりますが一人母校のジャージを着た高校生を発見。お願いして撮った写真がこれです。

今年の総会は8月24日です。時間・会場・会費は昨年と変わります。

三本木支部
会計 伊東 仁
(昭和48年卒・高25回)

120周年記念式典に参加しました。共学になってなお、質実剛健の校風は引き継がれ女子もいる応援団は素晴らしく立派でした。男女四部合唱の校歌はエレガントでいいものだと感じました。先輩諸氏の「いやいや別の学校みでだなや」というつぶやきにも共感します。在校生の努力で素晴らしい記念式典だったと思います。関係者の皆様のご努力に感謝いたします。さて、昨年の支部総会は6月10日に開催しました。菊地文義副会長、高橋賢教頭先生と佐藤広美先生に参加していただきました。平成19年卒が最年少。最年長は



高校14回、23名の参加でした。今年は6月10日に予定します。多くの参加を希望します。

私事になりますが、3月に古高の女子在校生4名を含む市内の高校生9名と市職員2名の12名でアメリカに行ってきました。私の姉妹都市ダブリン市訪問は7度目となります。今回の団員はずば抜けて素晴らしく、外国に行っても臆することなく積極的に様々なことに挑戦していました。今年は締結から20周年。記念レセプションが開催され、前ダブリン市長、アトランタの日本領事館主席領事、YKKアメリカ社の社長から格調高い祝辞があり、私自身も大崎市の代表としてスピーチをし、大崎市長の祝辞を読み上げるという大役を果たしました。団員達も格調高い外国での式典に感激し、良い経験になったと思います。三本木支部の活動も今回交流団として参加した生徒が同窓生になったときに参加してもらえらるように、若い同窓生、女性

美里支部
事務局 末 永裕悦
(昭和52年卒・高29回)

平成30年度の美里支部総会は5月25日、小牛田駅前の友栄会館にて高2回卒から29回卒までの24名の参加で開催されました。

ご多忙の中、同窓会本部からは望月俊一副会長、学校からは金和宏校長先生、また地元の美里町中坪出身で同窓会事務局次長の富田俊郎先生のご臨席を賜り、お祝いと激励の言葉などをいただきました。

平成26年に小牛田支部時代を含めて50周年を迎え、記念講演会を開催した美里支部ですが、今総会の議事では今後の周年事業のための基金の創設が認められ、準備金を積み立てて行くことになりました。また役員改選では「留任の刑に処す」ということで、新任1名を加えたほかは全員留任となりました。

有能かつ多才なメンバーが集う美里支部では、総会の折に会員による講話が行われることがあります。今回は高7回卒でJA小牛田組合長・JAみどりの専務等の要職を歴任され、憲法にも造詣が深い三浦弘康さんから憲法についてのお話を伺いました。戦後、新しい憲法との出会いとその感動、立憲主義に基づいた革新性、多くの命の犠牲の上

母校へこんな支援をしています

毎年

- 奨学金
- 卒業証書ホルダー (卒業生へ)
- 笛雪バッチ (新入生へ)
- 生徒会活動費補助

創立120周年 記念

- 記念横断幕 (体育館に)
- 記念手ぬぐい (在校生へ)
- エアコン2基 (3b講義室に)

*金額等は会計報告をご覧ください。

に成り立っていること、そして歴史に学ぶ大切ななどについて話されました。昨今の社会情勢を考えると、大変示唆に富む講話となりました。来年はどのような話が聴けるか楽しみです。

関西笛雪会
会長 高橋 達也
(昭和47年卒・高24回)

関西笛雪会の活動としては例年11月末に総会・懇親会を開催し交流を深めています。年間を通じて定期的に特別な行事はありませんが、時季をみて神戸・大阪・奈良・京都などで集まり情報交換をしています。総会への出席者数は先輩方や母校の先生方のお力添えによりここ数年初めて出席される同窓生を迎える事ができています。例年18時頃から開催しています総会ですが遅い時間帯の出席が難しいため昼開催を希望される意見もあり開催時期と合わせ検討をしているところです。

昨年、母校創立120周年を迎えましたが私たち関西笛雪会一同も母校の伝統と誇りを心に刻みこれからも同窓会の発展に力を注いでいこうと思っています。

会長 高橋 達也
(S47年卒・高24回)

副会長 松浦 清
(S53年卒・高30回)

副会長兼事務局 佐藤 文博
(H11年卒・高51回)

在京古高同窓会
事務局 佐々木 恭次
(昭和38年卒・高15回)

在京古高同窓会のこの1年間の活動報告をお知らせ

6月24日(土)総会には、昭和46年卒(43回)東京大学大学院農学博士 科学研究所教授 今川和彦教授(現東海大学農学部農学総合研究所教授)をお迎えして、渡米時カウボーイ時代を得て、米國大学での動物の生殖分野への研究に入り込んだ興味ある講演をいただきました。通常の留学とは異なる破天荒な経緯で、専門分野を開拓してきた経歴は大変興味深く、先端分野研究内容には感銘を与えました。また当日古高にて新入生向けへ、人材会社(BIP社)社長 S42年卒(高19回) 佐々木昭美氏に、これからの人生の心構えと進路に関して教育進路講演をして貰いました。母校生徒へのフォローアップ支援の一環です。

10月21日(土)に恒例の「江戸・東京探訪ツアー」の深川清州界隈探訪(芭蕉庵―相模部屋―清澄公園)を実施し、今回から興味ある方は参加自由にして、本部並びに在仙同窓生は元より、古川黎明と古川学園の方々も加わりました(総勢20名)。今年も10月頃に実施で企画しますので、皆さん是非参加下さい。

120周年記念式典へは、鹿野会長を含めて4人出席して、荒川忠一氏の講演をお聞きしてまいりました。実は在京同窓会での総会時の講演者招聘候補者のお一人に入っており、国際学会出席で講演難しかったのですが、今年6月30日総会には、講演頂けることになりました。

今年1月27日(土) 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」は、在京古高同窓会が幹事校で詳細は笛雪60号に掲載しておりますが、総勢230名余(古高83名の出席者の中で、H19年卒(59回)伊藤直幸氏(東京藝術大学大学院声楽科専攻)の所属コーラスグループ(アンサンブルコノハ)による美声を堪能しました。より身近な民放テレビの歌番組にも出演しております。皆さん是非応援して下さい。

同総会の集まりに、女性を含めて若手の新会員の参加し易い仕組みを考えていく課題があります。お知恵をアドバイスお願いします。

在仙同窓会
幹事長 齋藤 修正
(昭和60年卒・高37回)

平成30年5月19日(土)パレス宮城野で開催された

を實施し、今回から興味ある方は参加自由にして、本部並びに在仙同窓生は元より、古川黎明と古川学園の方々も加わりました(総勢20名)。今年も10月頃に実施で企画しますので、皆さん是非参加下さい。

120周年記念式典へは、鹿野会長を含めて4人出席して、荒川忠一氏の講演をお聞きしてまいりました。実は在京同窓会での総会時の講演者招聘候補者のお一人に入っており、国際学会出席で講演難しかったのですが、今年6月30日総会には、講演頂けることになりました。

今年1月27日(土) 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」は、在京古高同窓会が幹事校で詳細は笛雪60号に掲載しておりますが、総勢230名余(古高83名の出席者の中で、H19年卒(59回)伊藤直幸氏(東京藝術大学大学院声楽科専攻)の所属コーラスグループ(アンサンブルコノハ)による美声を堪能しました。より身近な民放テレビの歌番組にも出演しております。皆さん是非応援して下さい。

同総会の集まりに、女性を含めて若手の新会員の参加し易い仕組みを考えていく課題があります。お知恵をアドバイスお願いします。

在仙同窓会
幹事長 齋藤 修正
(昭和60年卒・高37回)

平成30年5月19日(土)パレス宮城野で開催された

平成30年度在仙古高同窓会定時総会・懇親会の報告をいたします。

今年は、古川高校教頭加賀谷亮様、古川高校同窓会副会長佐々木源様、事務局長遠藤直樹様、在京古高同窓会会長佐々木恭次様、事務局会佐野好昭様、県議会議員中島源陽様、県議会事務局長峯浦康宏様、県議会議員高橋啓様、県庁古高同窓会幹事長鎌田光昭様を来賓に迎え、参加者総勢56名にて大盛會にて開催することができました。

(1) 定期総会の部

旧制中学47回卒の我妻先輩のエルとともに参加者全員で校歌斉唱を行いました。が、世代の別なく一体となつて声を出す光景は圧巻の一言でした。

総会は、在仙古高同窓会会長鈴木忠司より「同窓生の各方面での活躍をたたえ、今後も後進の者に伝統を継承して参りたい。旨の温かみのある挨拶で始めました。また、



ご来賓の加賀谷教頭より「古高の新たな歴史を作る」とのスローガンを掲げ、在校生も日々努力を重ねているとの心強いご挨拶をいただきました。

その後、事務局から会務報告、会計報告をし、ご承認をいただき総会の部は終了いたしました。

(2) 懇親会の部

冒頭に佐野副知事よりご挨拶があり、宮城県の最大目標である震災の復興について、都市部の復興は大きく進んでいいるものの、まだまだ課題も多く各地域が元気になるよう皆様の協力を願っていたいとお話をいただきました。

在仙古高同窓会副会長齋藤範夫仙台市議会議員による乾杯のご発声で懇親会が始まり、途中、27回生の澤口康久氏と25回生の新田新一郎氏による野球形態模写コント(在仙名物?)を挟みながらのあつという間の2時間でした。

今後もより多くの皆様方の参加を期待しております。

県庁同窓会
幹事長 鎌田 光昭
(昭和61年卒・高38回)

県庁古川高等学校同窓会(会員数400余名)の平成29年度総会は、11月17日(金)に、金和宏校長、母校出身の県議会議員をはじめとする御来賓及び諸先輩方の御臨席を賜り、総勢90名が集い盛大に開催しました。

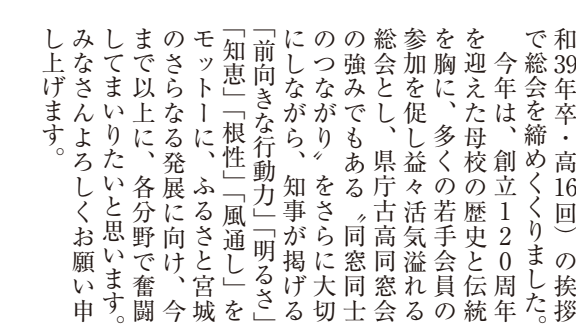
恒例の校歌斉唱ではじまり、佐野好昭会長(現副知

事)の挨拶の後、御来賓を代表し佐々木源古川高校同窓会副会長から力強い御祝辞を賜り、宴の流れに合わせ、金校長から現役生の進路状況や部活動等での活躍ぶり、また、昨年度から交流を深めている在仙古高同窓会の鈴木忠司会長から同窓会の近況などについて御紹介いただきました。

総会出席者は前回の100名超えには及ばなかったものの、今年も新規採用職員や平成生まれの会員、女性会員が多く参加し、世代を越えた交流ができた活気溢れた和やかな会となりました。

最後は、新規採用職員の堀江美里さん(平成25年卒・高65回)が登壇し、高校38回生の鈴木桂輝さんによるエールの交換、関南歌・凱歌・各応援歌を合唱して盛り上がり、菊地光輝先輩(昭和39年卒・高16回)の挨拶で総会を締めくくりました。

今年は、創立120周年を迎えた母校の歴史と伝統を胸に、多くの若手会員の参加を促し益々活気溢れる総会とし、県庁古高同窓会の強みでもある、同窓会士のつながりを、さらに大切にしながら、知事が掲げる「前向きな行動力」「明るさ」「知恵」「根性」「風通し」をモットーに、ふるさと宮城のさらなる発展に向け、今まで以上に、各分野で奮闘してまいりたいと思います。みなさんよろしく願います。上げます。



入 試 合 格 状 況

卒業生の進路状況

	国公立大学	私立大学	国公立短大	私立短大	大学校	専修各種	就 職	受験 準備	その他
合格者	66	282	1	3	2	高看 16	公務員 7	33	1
進学者	63	109	1	3	2	一般 6	民間 0		

*大学校は防衛大学校2名で公務にも計上されている。

1、国立大学合格者数

大 学	入試年度		30年度		現役	
	現役	過卒	18		男	女
北 海 道 教 育 大	1					1
弘 前 大	4				3	1
秋 田 大	3				2	1
岩 手 大	8				6	2
東 北 大	4	4			3	1
宮 城 教 育 大	8				3	5
山 形 大	6				4	2
福 島 大	3	1			3	
茨 城 大	1				1	
筑 波 大	1					1
宇 都 宮 大		1				
埼 玉 大	2				1	1
千 葉 大	1					1
東 京 学 芸 大	2				1	1
電 気 通 信 大		1				
新 潟 大	2					2
上 越 教 育 大	1					1
富 山 大		1				
琉 球 大	2					2
国 立 大 合 計	49	8			27	22

2、公立大学合格者数

大 学	入試年度		30年度		現役	
	現役	過卒	18		男	女
釧 路 公 立 大 学	1	1			1	
青 森 県 立 保 健 大	1					1
秋 田 県 立 大	3				1	2
岩 手 県 立 大	2				2	
宮 城 大	5				2	3
会 津 大		1				
前 橋 工 科 大	1				1	
高 崎 経 済 大	2				2	
首 都 大 東 京		2				
長 野 大	1					1
富 山 県 立 大	1				1	
名 桜 大		1				
公 立 大 合 計	17	5			10	7

国 公 立 大 合 計	30年度		現役		男	
	現役	過卒	66	13	37	29

3、私立大学合格者数

大 学	入試年度		30年度	
	現役	過卒	18	
東 北 学 院 大	75	3		
東 北 工 業 大	13	1		
東 北 福 祉 大	17	5		
東 北 医 薬 大	4	1		
宮 城 学 院 女 子 大	22			
仙 台 白 百 合 女 子 大	5			
石 巻 専 修 大	8			
尚 綱 学 院 大	7			
東 北 芸 術 工 科 大	3			
国 際 医 療 福 祉 大	6			
文 教 大	6			
青 山 学 院 大	3	2		
北 里 大	3			
國 學 院 大	2			
駒 澤 大	5	1		
専 修 大	2			
中 央 大	2	3		
東 海 大	5			
東 京 農 業 大	3			
東 洋 大	6			
日 本 大	3	2		
法 政 大	4			
明 治 大	2			
立 教 大		1		
早 稲 田 大	1			
神 奈 川 大	4	1		
同 志 社 大	1			
そ の 他 の 大 学	70	7		
私 立 大 合 計	282	27		

今春卒業の70回生は男女共学11期生となり、卒業学年は男子が130名、女子103名でした。また文系クラスが121名、理系クラスが112名と、昨年に続き文系生徒の多い学年になりました。70回生は入学以来英語が苦手な学年でありましたが、粘り強く学習に取り組み、その結果国公立大学に66名の合格者を出すことができました。今年度の受験の特徴は、最後まで第一志望にこだわる、チャレンジでした。東北大学についてはAOⅡで工学部1名、前期日程で法学部1名の4名に留まりましたが、過去5年で最も多くの生徒（実人数）がチャレンジしました。その他では、筑波大学、千葉大学、東京学芸大学等に数年ぶりで合格者を出しました。一方で、チャレンジの結果として33名の進学準備生徒を出す結果になりましたが、この中には東北大学ほか、東京大学や京都大学に果敢にチャレンジした生徒が含まれており、来春に捲土重来を期待したいと思えます。過卒生については、東北大学4名、首都大学東京2名など13名が国公立大学に合格し初志貫徹を果たしています。進学・就職した卒業生には古高での3年間ですばらしい人間力により磨きをかけ、新天地において大活躍することを期待いたします。

平成30年度
古川高等学校同窓会総会のご案内

- 日時 平成30年8月12日(日)
- 場所 グランド平成 大崎市古川駅前大通5丁目3-2
TEL 0229-23-6363
- 日程 13:00～ 総 会 当番幹事 高24・高29・高34・
高39・高44・高49回生
14:40～ 講演会 「出会いから始まる未来への物語」
講師 中島 源陽氏 (昭56年卒・高33回)
宮城県議会議員
NPO法人 オープンハート・あったか 理事長
大崎コミュニティーカレッジ 学長
16:20～ 記念撮影
16:30～ 懇親会
- 会費 4,000円 (懇親会代含む)

120周年事業 寄付者芳名簿の訂正

昭39・高16
佐藤 雍正 (誤) を後藤 雍正 (正) と訂正させていただきます。
大変申し訳ありませんでした。